

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 7月 10日

事業所名:スーパーキッズ木津川校

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		放課後デイサービス基準の1人あたり3m ² の運営基準は満たしている	自由時間バラバラに遊ぶのではなく、集団で遊べるものを勧める
	2 職員の配置数は適切であるか	○		京都府の人員配置基準より2~3名多い配置にしている	現状の人員配置を継続していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		建築基準法と京都街づくり条例はクリアしているが、入り口や段差があるところは介助が必要な利用者は介助をしている	引き続き実施
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日10分ほどのミーティングと週1回1時間会議を行い、問題点や業務改善を行っている	欠席者にも周知できるように会議録だけでなく口頭でも共有していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		今回が初めての自己評価のため特になし	自己評価表を参考に会議で議論し、皆様にとってより良い支援と運営を考えていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今回が初めての自己評価のため特になし	集計結果をワムネットに掲載と各保護者様にLINEで通知し、事業所の出入口に掲示する
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今までの実施はなし	必要があれば第三者評価の検討
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修や資格取得費用の半額負担を行い、支援技術や知識の資質向上を行っている	費用負担の継続 OJTの強化	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		年2回の面談の実施、支援会議録の作成し個別支援計画の作成に役立てている	引き続き実施
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		児童個人のファイルの作成により、状況を把握して支援を行っている	定期的にあセスメントツールを見直し、支援を継続する
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		月2回療育のプログラムやイベントの会議を行っている	プログラムがより良く準備できるように、数か月前という早い段階から全スタッフで立案を図っていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		人気イベント、療育に必要なイベント、月替わりのイベントの3つに分けて利用者統計を出して企画している	アンケートの実施で希望のプログラムや好きなプログラムを集計していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		児童支援に必要な5領域の観点を守りながら音楽、工作、料理、遠足など明確の上行っている	引き続き実施
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		社会性を高める目的で集団活動を多く取り入れている	利用者の状況に合わせて個別活動も組み合わせることを検討していく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日10分ほどのミーティングを行い、当日の現場や送迎、療育、支援、書類業務の役割分担を行っている	引き続き実施
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		大きな問題については緊急で会議を行うこともある。問題点などを整理し、翌日に共有している	引き続き実施
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日ケース記録を行い、それを参考に支援の改善に役立てている	引き続き実施
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年2回の面談を行い、全利用者のモニタリングを作成、見直しを図っている	引き続き実施
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		ガイドラインに沿って支援、療育、基本活動を組み合わせ合わせて支援を行っている	引き続き実施

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	○		代表もしくは施設長クラスのスタッフが対応している	代表と主任だけでなく、どの社員でも対応できるような指導と共有を行う
	21	○		主に勉強などの支援は学校と連携して行うようにしている	学校の歩み寄りが少ない状況もあり、支援にバラつきがでている
	22	○		保護者さんとケースに応じた対応の確認を行っている	会議などで情報共有は行っているが実際の場面に遭遇した時に備えてロープレを行う
	23	○		必要に応じて対応している	利用者の情報を聞かれた場合のみ対応している
	24	○		必要に応じて対応している	利用者の情報を聞かれた場合のみ対応している
	25	○		必要に応じて対応している	なかなか時間もとれないので電話などで対応している
	26		○	学校などがあるので必要性はそこまで感じていない	必要があれば参加したい
	27	○		代表もしくは施設長クラスのスタッフが参加している	会議で協議会などの情報共有と考え方などを伝える
	28	○		送迎時と連絡帳で課題などの情報共有を行っている	具体的な改善方法などを提案できるようにする
29	○		個別面談で必要な方にはアドバイスさせて頂いている	もう少し気軽に面談できる機会をつくる	
保護者への説明責任等	30	○		支援内容をメインにある程度説明を行っている	利用者負担に関しては、もう少し時間を取って説明した方が分かりやすい
	31	○		個別面談で悩みに対する助言を行っている	利用者さんの特性も理解しながらこれまでの経験を伝えている
	32		○	各家庭によって賛否が分かれることが多いので慎重に考えていきたい	参加自由のイベントなどを計画していきたい
	33	○		LINEや電話、場合によっては面談も含めて迅速に対応できるようにしている	LINEや文章などの説明が難しい場合もある
	34	○		毎月10日に行事予定や連絡事項などについては全員に情報を送っている	LINEでの報告がメインなので情報が見落とされている部分もある
	35	○		動画撮影などや個人情報などの書類などは鍵付きロッカーで保管している	動画撮影の許可証などの希望を聞かせてもらっている
	36		○	今のところ是对応できているが十分な体制ではない	タブレットでのやり取りなどで対応したことはあるが、他のツールも必要
	37	○		地域の高校や地域の方が参加できるようなイベントを計画している	高校の部活のコラボやダンスや体操の発表会などを行う予定

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38		○	職員にはマニュアルの説明ができていたが、保護者への周知ができていない	8月の保護者連絡までには告知させていただきます
	39		○	半年に一度3日間ほどかけて避難訓練を行う	火災、洪水、地震などケースに応じた避難を行う
	40	○		会議やミーティングなどで対応などの指導を行っている	全国などで起きている前例など実際の現場で起きている事例などをあげて研修している
	41	○		保護者さんと身体拘束の同意を得たうえで必要に応じて対応する	個別支援計画書に必ず身体拘束する方は記載しておく
	42	○		アレルギーのある児童のリストを冷蔵庫前に貼り付けて確認している	アレルギー表の更新などはすぐに行うようにしている
	43	○		会議やミーティングなどで共有を行っている	問題がスタッフの意識なのか不注意なのかシステムなのか、設備面などか細かく伝える